

2020年8月8～10日 中央アルプス 伊奈川本谷

メンバー：L谷内、倉澤、若奈、野中

ゆったりとした溪歩きの流れとして以前からあたためていた伊奈川本谷に行ってきました。ゆったりというよりも地形図で見るとうり長大な谷で、水量によっては厳しい渡渉技術を試され、大岩の乗っこしなどちょっとしたルート取りで消耗させられる体力勝負の流れという感じでゴルジュ突破や滝場の連続などないものの沢中泊りは充分楽しむことができました。

入山駐車地点に戻るべく二日目は檜尾避難小屋泊りとし、三日目は中ア中央部の縦走を加えるという2泊3日の山行でした。

8/8 うすくもり

AM5時茅野発 - 6:45 倉本林道2号目イザルボテ駐車。林道のカーブ地点で数台分のスペースのみ。6:50 発 - 8:20 中八丁峠 - 8:50 伊奈川出合。つり橋はなく飛び石伝いに対岸へ。林道を進むと取水口に導かれ有刺鉄線脇にか細いが踏み跡あり沢床へ。9:40 入溪。結構の水量で渡渉ポイントを探りながらの遡行となる。最大屈曲点のゴルジュは右岸に巻き跡あり問題なし。しばらくして単独の釣り人に会うがあまり釣れてないよう。枝沢の読図を行いながら進み金沢出合すぎ1800m地点左岸に絶好の幕場あり13:50 タープ設営。ソーメンのおやつの後、生態調査を行うが魚影薄く思惑が外れたが盛大な焚火で癒される。

寝入

りばなからしばし雷鳴と小雨に見まわれるが増水の気配なく焚火のおきもしっかり残ってくれており助かる。

8/9 くもり

AM4:45 発。昨日と同じような単調な溪相を進み、荒れた二ノ沢、三ノ沢をすぎ、7時南沢出合で進路を北東にとり、七曲沢出合で北に向かい2500m付近でようやく滝場を迎える。左手コーナーをロープ確保下で登り重い荷物であったロープの役割がはたせる。ナメ状をすぎ源頭の雰囲気を感じ始めたところで開けたお花畑に飛び出る。晴れていれば最高のロケーションだろうが致し方なし。水枯れ後に足回りを履き替えちよいの藪漕ぎの後、12:15 三ノ沢岳へ向かう登山道に出て長かった溪歩きを終える。極楽平から先は西風に吹かれながら主脈

を南下し 15:05 檜尾避難小屋着。小屋周辺のテントが最終的に 8 張りぐらいと賑わっていたが小屋内は先着 1 パーティー 4 名のみとすいてて助かる。三蜜を避けるべく外で夕餉を食した後、早めに就寝。

8/10 霧～晴れ

AM2:30 起床 - 3:30 発。霧（雨）と西風で視界不良の中、低体温症に気をつけながらアップダウンを繰り返し 7 時木曾殿越着。晴れていれば快適な縦走を楽しめたのであろうが残念。9:10 北沢出合 - 10:17 うさぎ平 - 最後のつらい登りを一頑張りして 11:40 中八丁峠 - 12:35 駐車地点帰着。